2025年度

明海大学

総合型選抜（A0）A日程

分析力テスト

（試験時間 60 分）

注 意 事 項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 試験終了後、この問題用紙は回収しますので、表紙と問題は切り離さないでください。また表紙には受験番号・氏名を忘れずに記入してください。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 解答は必ず HB か B の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
5. 解答用紙に志望学科・受験番号・氏名を忘れずに記入してください。また、解答は横書きで記入してください。
6. 問題の印刷に不鮮明な箇所などがあった場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

受験番号					
氏 名					

訪日外国人旅行者に関するグラフ（図1～4）およびオーバーツーリズムに関する資料を読んで続く問に解答しなさい。

図1 訪日外国人旅行者数の推移

図については、著作権の関係から
掲載いたしません。

（出所）令和6年版『観光白書』より

2 国籍・地域別訪日外国人旅行者数

図については、著作権の関係から
掲載いたしません。

（出所）令和6年版『観光白書』より

（注）グラフ中の数値は2023年の2019年比。

図3 国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比

図については、著作権の関係から
掲載いたしません。

(出所) 令和6年版『観光白書』より

図4 国籍・地域別消費単価及び平均泊数(2023年)

図については、著作権の関係から
掲載いたしません。

(出所) 令和6年版『観光白書』より

(注) 図中の枠内の数値は平均泊数、そのすぐ下の数値は平均消費単価を示す。

資料については、著作権の関係から
掲載いたしません。

- 問1 図1のグラフから、訪日外国人旅行者数の特徴について、読み取れることを述べなさい。
(100字以内)
- 問2 図2と図3のグラフから、2019年と2023年を比べた場合の国籍・地域別の訪日外国人旅行者数の変化、および消費額とその構成比の変化について読み取れることを述べなさい。
(150字以内)
- 問3 図4グラフから、国籍・地域別の消費単価および平均宿泊日数について、どのような特徴が読み取れるかを述べなさい。(100字以内)
- 問4 資料を読んで、オーバーツーリズムとは何か、そしてそれによりどのような問題が生じているのかを述べなさい。(200字以内)
- 問5 オーバーツーリズムを解決していくために、どのような対策が考えられるか、あなたの考えを具体的に述べなさい。(250字以内)

分析カテストの採点ポイント

問1 (15点)

図1の表記から、訪日外国人旅行者数が2012年までは横ばいであったが、2013年から急激に増加していることや、(コロナ禍の影響で)2020年から2022年は大きく落ち込んでいるが、2023年には再び急増し、2016年を上回る2507万人に達したこと。

問2 (20点)

図2と図3の表記から、2019年と2023年を比べると中国からの旅行者数が-74.7%減少しているのに対して、韓国からの旅行者数が24.6%増えていること。また、2019年と2023年を比べると訪日外国人旅行者の消費額が、2019年は中国人の消費額の割合が36.8%と一番大きかったのに対し、2023年は台湾の割合が14.8%と一番大きいこと。

問3 (15点)

図4の表記から、欧米からの旅行者の平均泊数がアジア諸国に比べて長いことや、アジアの中では中国からの平均泊数が他のアジア諸国より長いこと。また、欧米からの旅行者は、消費における宿泊費の割合が比較的大きいこと。

問4 (25点)

資料にはオーバーツーリズムの定義が述べられている。これをもとに、観光スポットや公共空間、交通機関の混雑、ポイ捨てが常態化されるようなゴミの問題。また、供給過剰ともいえる宿泊施設の立地について記述されていること。

問5 (25点)

オーバーツーリズムへの対策として、資料に書かれている「分散」、「規制」、「課税」を踏まえて、論理的に考えが述べられていること。